



保育園・幼稚園の現状と課題、 ごみを減らす取り組みについて

松本 隆志 議員



保育園の現状と課題

質問 本年4月の保育園入園率は、14園中10園が定員を下回る状況にあります。

今後とも出生数は減少傾向にあります。保育園の抱える課題について伺います。

答 待機児童の要因である保育士不足、施設の老朽化による修繕費等の財政負担

担、園児数減少に伴う民間化を含めた公立・私立施設数の適正配置が課題です。

質問 本市は他自治体と比較し、公立保育園が多い現状です。財政面では、全額市財源で賄われる公立に対し、私立保育園の運営費は、約75%が国と県の資金で賄われます。そこで今後の方

向性について伺います。

答 館林私立保育園連絡会から公立保育園の在り方検討を望む要望書が提出されました。出生率は毎年減少していますので、幼稚園・保育園の再編を含め、利用者・経営者の視点、市財政負担等を総合的に判断し、事業を進めていきます。

市役所出張フォーラム 市民協働のまちづくりについて

斉藤 晋一 議員



質問 市内各地域で開催された市役所出張フォーラムの反応について伺います。

答 時間の都合で十分な意見交換ができず、アンケート調査や市長へのメッセージはがきを配付するなど意見聴取に努めました。里沼や総合計画についての説明は、参加者の約6割の方

が良かったとの回答でした。

質問 主催者側である行政としての評価を伺います。

答 各地域の区長と市の共催で行い、地域と行政の連携を深めることができ、地域の生の声を市政に反映できる大変貴重な機会であったと考えます。

要望 全庁でなく各部署で

も開催するなど積極的に市民の声を聞き、ていねいな説明や理解を得ることが重要です。多くの市民の声を傾け、政策に反映していただくよう要望します。

の取組について伺います。

答 小学校との交流や外国人指導助手の訪問等、各園で地域の様々な教育資源を活用し、特色ある教育活動を展開しています。

質問 利用率が本年4月に約35%と低水準で推移する中、今後どのような体制で運営すべきと考えますか。

答 少子化や核家族化、共働き家族の増加が想定されますので、幼稚園、保育園の統廃合や民営化、認定こども園への移行検討を含

め、関係部局と連携を取りながら進めたいと考えます。ごみを減らす取組

質問 ごみステーションの排出課題に対する取組や地域連携について伺います。

答 依然ルールを守らないごみ排出が多いため、地域の意見を踏まえた統廃合や適正配置を進めます。また定期巡回や地元説明会、違反ごみ排出者への直接指導の強化など、地域と連携し、マナー向上とごみの減量化に取り組みます。

答 市民協働に取組む団体からは、人材不足の問題を聞きます。また、市民と行政のコミュニケーション不足も感じます。セミナーや講演会、情報提供などの取組を行っています。

質問 市民活動団体やボランティア、自治会などの活動支援の窓口、支援組織の必要性について伺います。

答 中間支援組織に関わる人材の発掘や育成を図るとともにインターネット上のスペースの活用研究を踏

まえ、市民活動に関する情報提供等について分りやすい表示や相談しやすい雰囲気を作るなど、市民協働課の現状の中で工夫に努めたいと考えます。

要望 市民の声や意欲、アイデアの取りこぼしがあつてはなりません。市民サポートセンター設置のために、誰でも立ち寄れてボランティアの相談や勉強もできる市民サポート窓口の開設や、スペースの確保を要望します。